

(5) 都市基盤

《施策別成果動向一覧》

節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移				成果指標の推移									
				対基準値		対前年度		対基準値					対前年度				
				改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可
土地開発	29	地域の特性を生かした土地利用を推進する	順調	1	0	0	1	0	0	5	0	0	0	3	2	0	0
道路・交通	30	だれもが安全に安心して通行できる道路をつくる	順調	1	0	0	0	0	1	5	0	0	0	3	1	1	0
	31	快適に移動がしやすい交通環境をつくる	順調	1	0	0	0	0	1	6	0	0	0	2	1	3	0
緑地・公園	32	花と緑の豊かなまちなみをつくる	横ばい	1	0	0	0	0	1	3	0	3	0	4	1	1	0
河川	33	浸水被害がない地域にする	順調	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0
まちなみ	34	良好な都市景観と快適な住環境をつくる	順調	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0

《まちづくり評価委員会の評価》

「都市基盤」分野では、まちづくり指標等の動向から判断して、施策の成果動向は、「順調」が5施策、「横ばい」が1施策となり、分野全体の成果動向は、「順調」であると評価する。

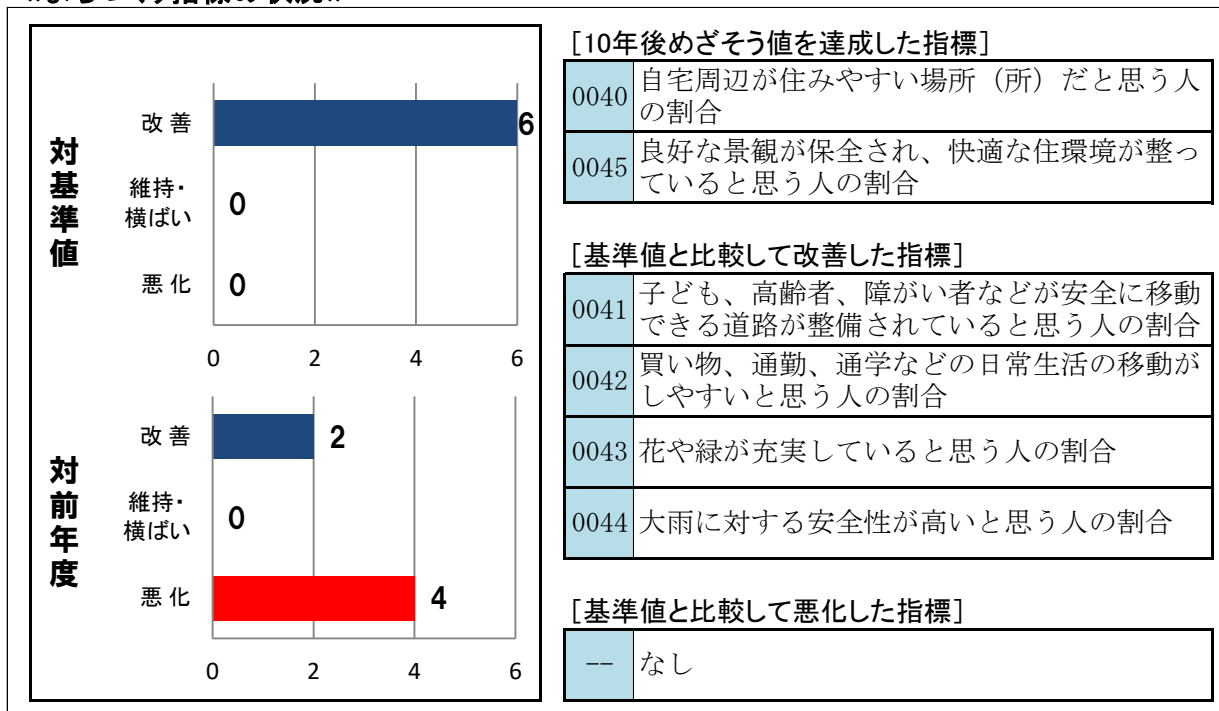
立地適正化計画においては、都市機能の誘導と抑制のバランスを適正にする必要がある。また安全・快適に道路を通行できるよう、土地利用分離や通行指導、バリアフリー対策、歩道整備等により、安全対策の強化と交通量の増加に対応するほか、公共交通機関を取り巻く環境が変化しているなかで、循環バスのルートを工夫して利便性の向上を図る必要がある。

[施策29～31] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」であると評価する。

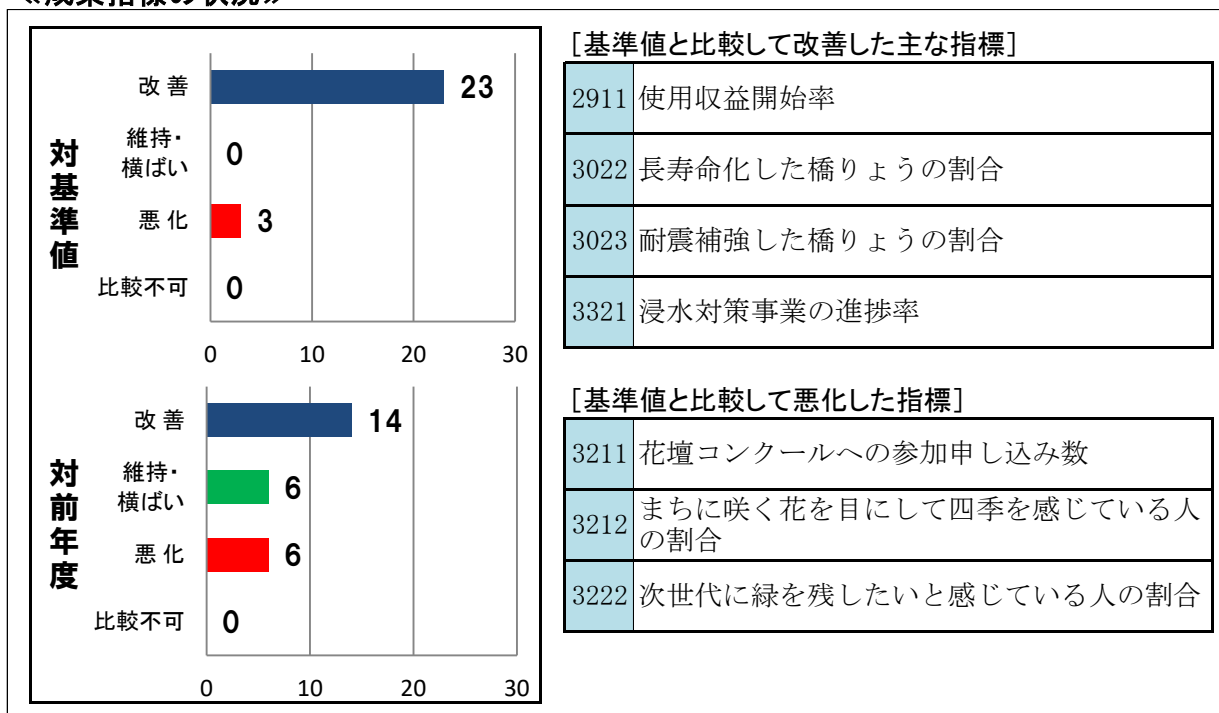
[施策32] まちづくり指標、成果指標の動向から「横ばい」であると評価する。

[施策33・34] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」であると評価する。

《まちづくり指標の状況》



《成果指標の状況》



《第5章「都市基盤」指標の状況》

【まちづくり指標】「自宅周辺が住みやすい場所（所）だと思う人の割合」はじめ2指標が10年後めざそう値（R5(2023)）を達成したほか、「子ども、高齢者、障がい者などが安全に移動できる道路が整備されていると思う人の割合」など、基準値と比較して全6指標が改善した。

【成果指標】「使用収益開始率」はじめ23指標、分野全体で88.5%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は「花壇コンクールへの参加申し込み数」はじめ3指標（11.5%）となった。

章 05 都市基盤
節 01 土地開発

理念 活力

施策 29 地域の特性を生かした土地利用を推進する

施策主管課【都市計画課】

めざすまちの姿

住宅地、農地、商業地、工業地などに地区が区分けされ、土地が有効利用されている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

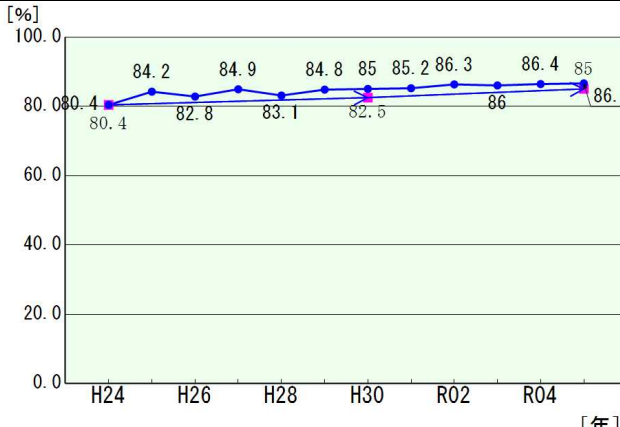
住宅地、農地、商業地、工業地など、それぞれの地区特性を生かして、土地の有効利用を図り、調和のとれたまちづくりを進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	中心市街地を活性化する	146,920	143,232
02	土地を有効活用する	131,782	111,504
03	活気のある地区拠点をつくる	1,235,370	1,141,968
施策合計		1,514,072	1,396,704

まちづくり指標の分析

No	0040	No		
方向性	➡			
自宅周辺が住みやすい場所（所） ）だと思ふ人の割合		方向性		
[%]  [年]				
対基準値:6.2ポイント増 / 基準値からの推移: ○ 10年後めざそう値達成率:134.8% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:土地区画整理事業等による都市基盤の整備が順調に進んでいることが影響していると考ええる。				

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「自宅周辺が住みやすい場所（所）だと思ふ人の割合」はめざそう値達成率が134.8%だったことから、施策は順調に進展した。

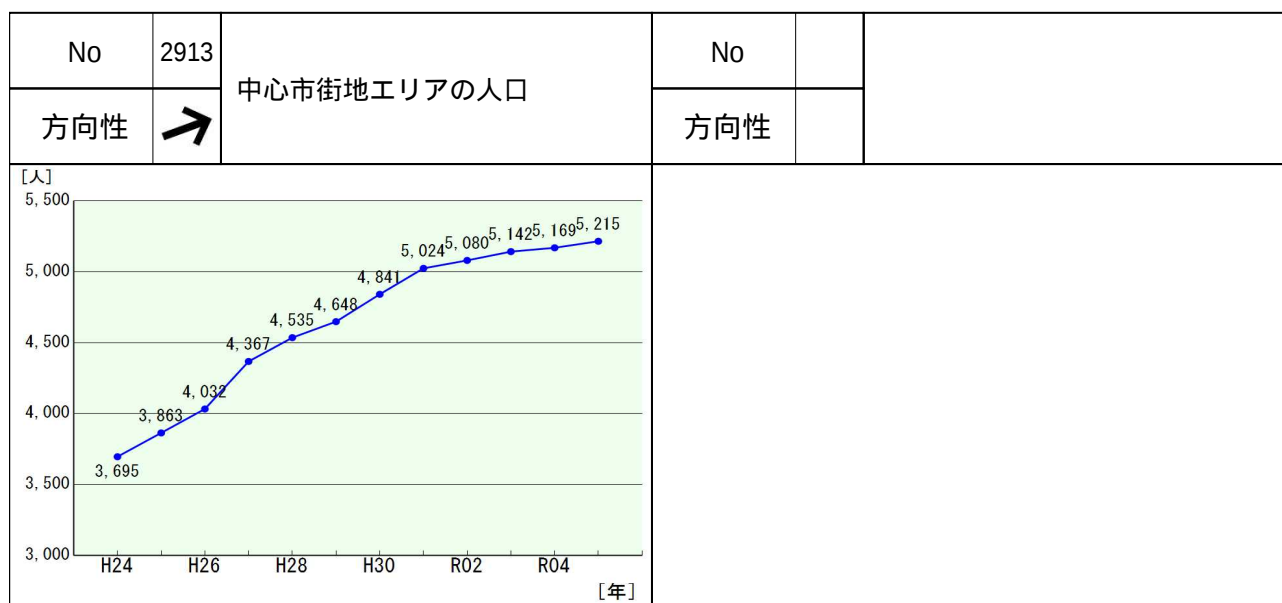
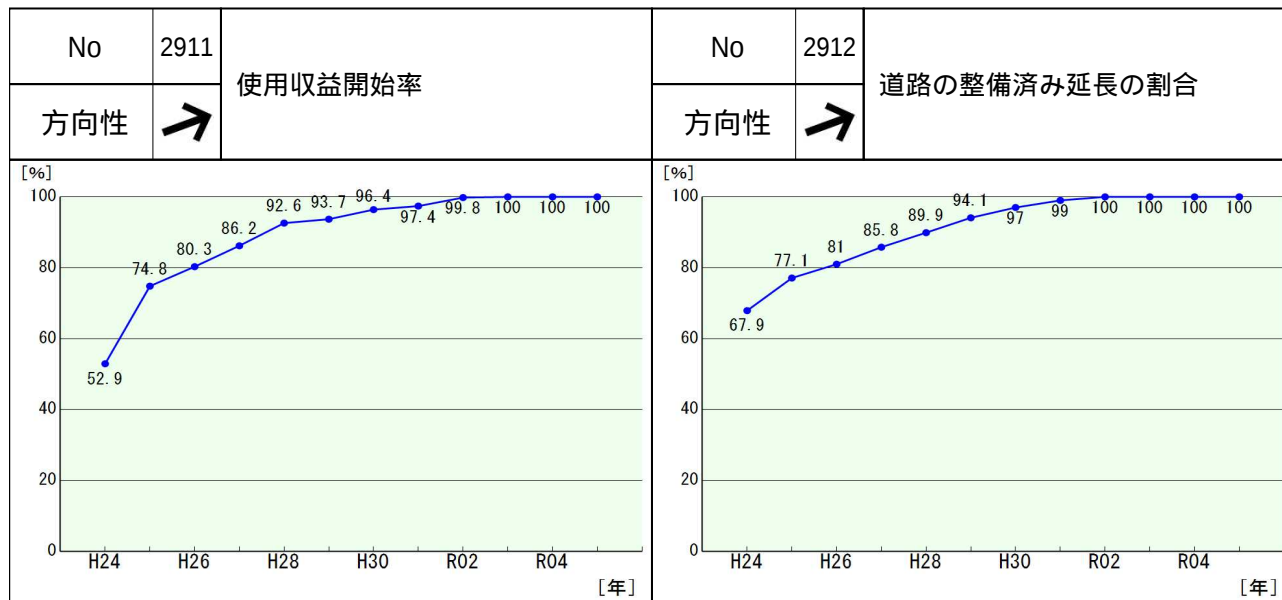
立地適正化計画の都市機能誘導区域や土地区画整理事業を実施した区域において、住宅の建設が進むなかで、新たに公共施設や商業施設が整備されたことが影響したと考える。

7次計画では、現在施行中の土地区画整理事業の推進により都市的土地利用が実現するように引き続き取り組むとともに、令和6年3月に策定した新たな都市計画マスタープランに基づき、地域の特性を生かした調和のとれたまちづくりを継続して進めていく。

施策 29 地域の特性を生かした土地利用を推進する
 単位施策 01 中心市街地を活性化する

単位施策主管課【市街地整備課】

成果指標の推移



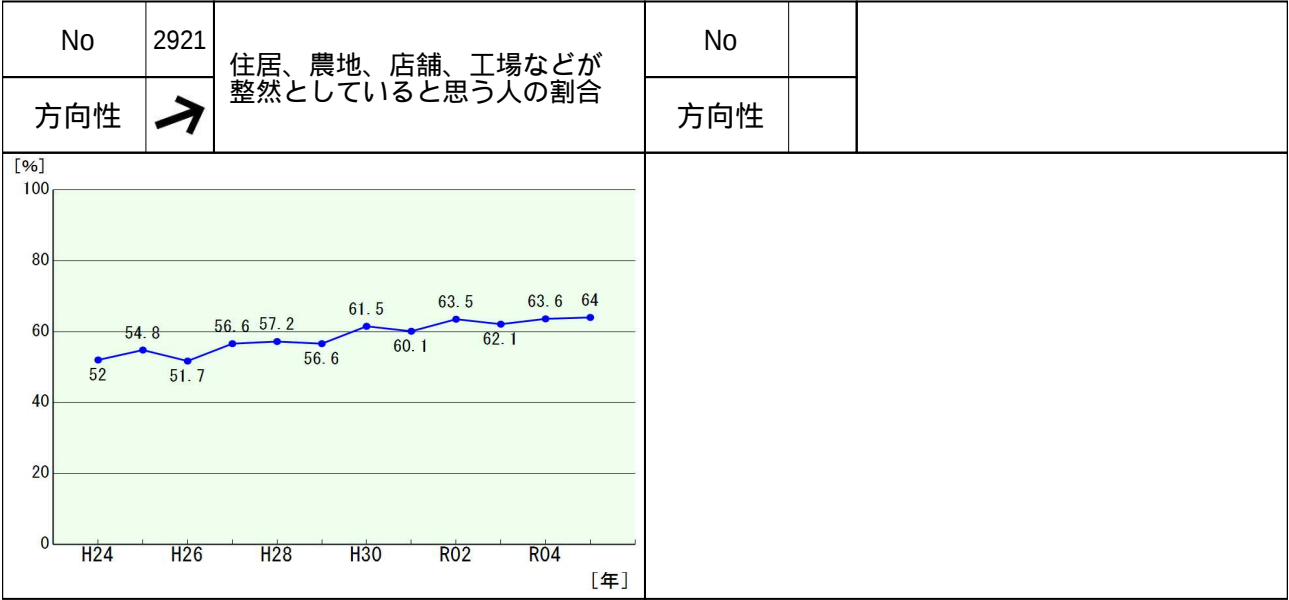
単位施策の評価

成果指標3指標の全指標が基準値から順調に向上しており、単位施策は順調に進展した。
 「使用収益開始率」、「道路の整備済み延長の割合」については、ともに100.0%とすることができ、建物移転や道路整備を計画どおりに実施することができたと考える。「中心市街地エリアの人口」については、基準値から1,520人(41.0%)の増加となり、道路整備の順調な進捗等が人口の増加に影響したと考える。
 道路整備等、ハード面の整備は概ね完了したため、7次計画では、換地処分に伴う清算金の徴収、交付事務を円滑かつ適切に取り組んでいく。

施策 29 地域の特性を生かした土地利用を推進する
単位施策 02 土地を有効活用する

単位施策主管課【都市計画課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

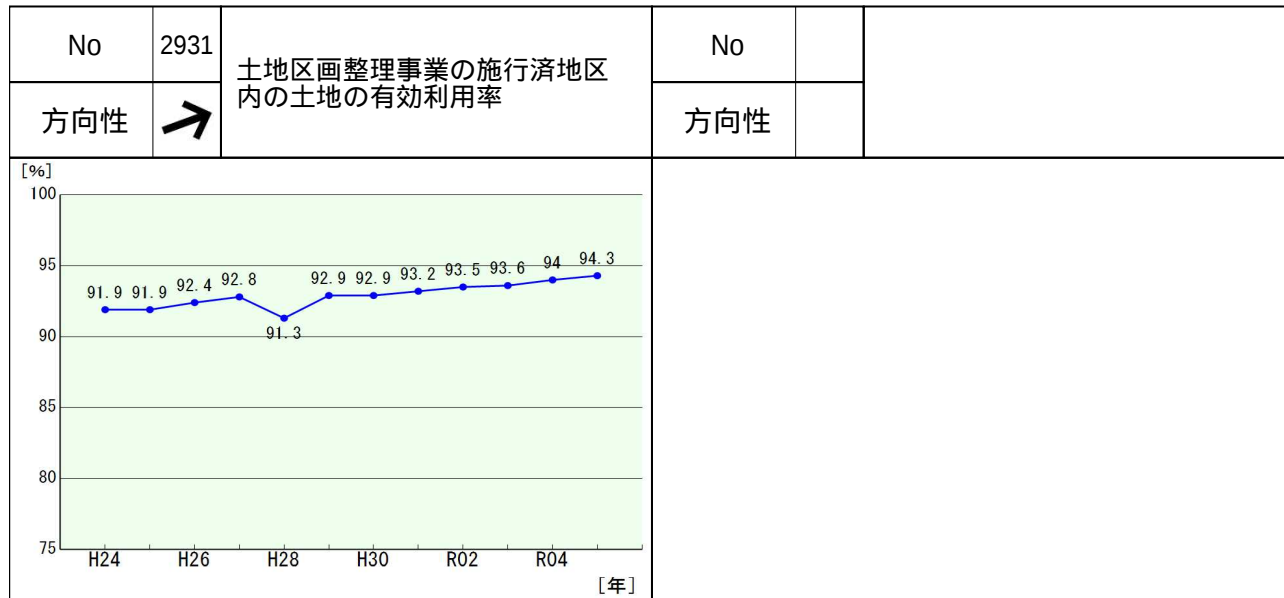
単位施策の評価

成果指標が基準値から順調に向上しており、単位施策は順調に進展した。
「住居、農地、店舗、工場などが整然としていると思う人の割合」は、立地適正化計画の都市機能誘導区域を設定した大田地区、加木屋地区や土地区画整理事業を実施した渡内地区で高く、地域の特性を生かした土地の有効活用が継続的に進められていることが影響していると考えられる。
7次計画では、令和6年3月に策定した新たな都市計画マスタープランに基づき、関連計画との連携、調整を図りながら、地域の特性を生かした調和のとれたまちなみの形成を継続して推進していく。

施策 29 地域の特性を生かした土地利用を推進する
 単位施策 03 活気のある地区拠点をつくる

単位施策主管課【市街地整備課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は基準値から順調に改善しており、単位施策は順調に進展した。
 土地区画整理事業の施行済地区内において農地から都市的土地利用への転換が図られたこと
 によるものとする。
 現在施行中の土地区画整理事業においても早期に地区全体の都市的土地利用が実現するよう
 、7次計画でも引き続き取り組んでいく。

章 05 都市基盤

理念 安心

節 02 道路・交通

施策 30 だれもが安全に安心して通行できる道路をつくる

施策主管課【土木課】

めざすまちの姿

子ども、高齢者、障がい者などが安全に移動できる

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

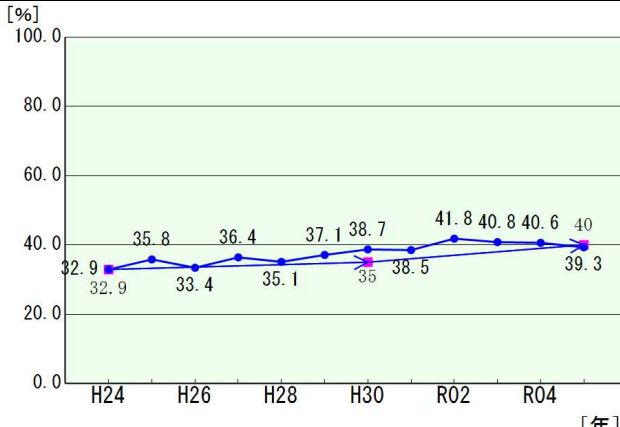
だれもが安全に安心して利用できるように、歩行者と自転車を分離した道の整備や地震・火災などの災害時の救命活動などに支障となる狭あい道路の拡幅整備を進めます。
また、老朽化が進んでいる道路施設の整備や橋りょうの長寿命化、耐震化を進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	安全な道路環境をつくる	673,866	527,416
02	道路施設の維持修繕や耐震化を進める	495,388	426,662
施策合計		1,169,254	954,078

まちづくり指標の分析

No	0041	子ども、高齢者、障がい者などが安全に移動できる道路が整備されていると思う人の割合	No																										
方向性	➡		方向性																										
[%] <table><caption>まちづくり指標の推移（推定値）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>割合 [%]</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>32.9</td></tr><tr><td>H25</td><td>35.8</td></tr><tr><td>H26</td><td>33.4</td></tr><tr><td>H27</td><td>36.4</td></tr><tr><td>H28</td><td>35.1</td></tr><tr><td>H29</td><td>37.1</td></tr><tr><td>H30</td><td>38.7</td></tr><tr><td>R01</td><td>35.0</td></tr><tr><td>R02</td><td>38.5</td></tr><tr><td>R03</td><td>41.8</td></tr><tr><td>R04</td><td>40.0</td></tr></tbody></table> [年]			年度	割合 [%]	H24	32.9	H25	35.8	H26	33.4	H27	36.4	H28	35.1	H29	37.1	H30	38.7	R01	35.0	R02	38.5	R03	41.8	R04	40.0			
年度	割合 [%]																												
H24	32.9																												
H25	35.8																												
H26	33.4																												
H27	36.4																												
H28	35.1																												
H29	37.1																												
H30	38.7																												
R01	35.0																												
R02	38.5																												
R03	41.8																												
R04	40.0																												
対基準値：6.4ポイント増 / 基準値からの推移：○ 10年後めざそう値達成率：90.1% 年齢別：差異有、職業別：差異有、地区別：差異有 要因：比較的生活圏の広い学生や若年層において道路環境に対する満足度が高い。																													

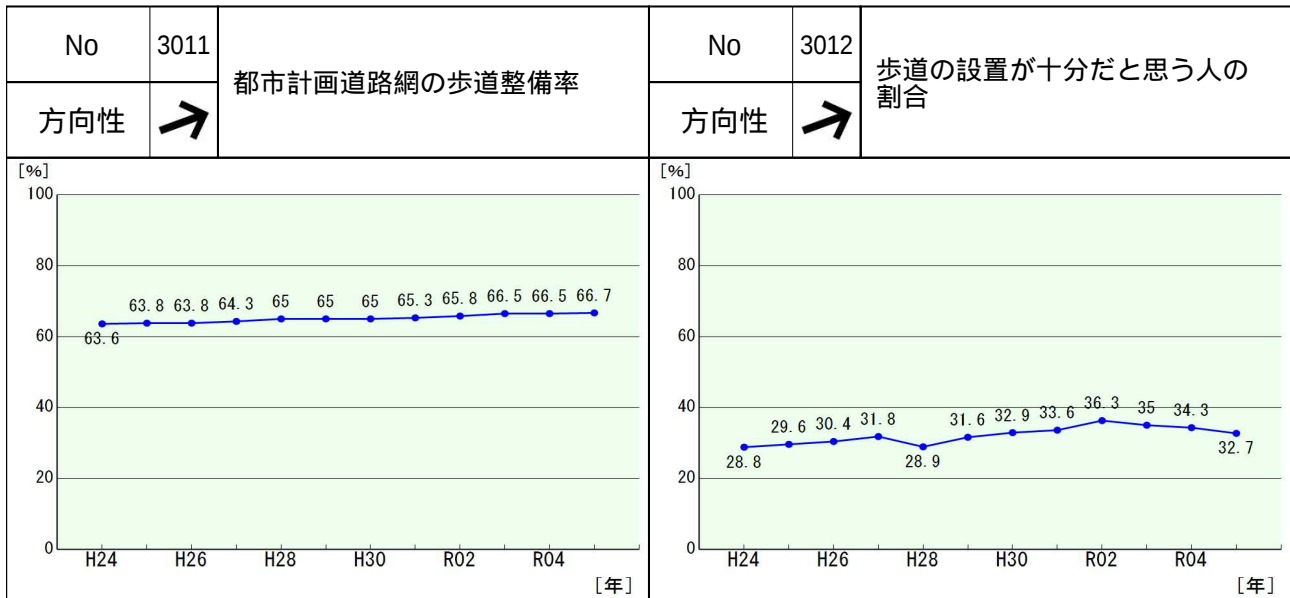
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

まちづくり指標は、近年めざそう値を超えて推移しており、施策は順調に進展した。
計画期間を通して、道路改良工事をはじめとする安全な道路環境の整備を実施するとともに、市民からの要望や道路環境を調査した結果を踏まえ、道路施設の維持修繕などを実施したことが指標向上に寄与したものとする。
7次計画では、引き続き上位計画や地元要望などから優先順位を踏まえ、安全な道路環境の整備や道路施設の維持修繕を実施していくことで安心・安全な道路環境の向上を目指していく。

施策 30 だれもが安全に安心して通行できる道路をつくる
 単位施策 01 安全な道路環境をつくる

単位施策主管課【土木課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

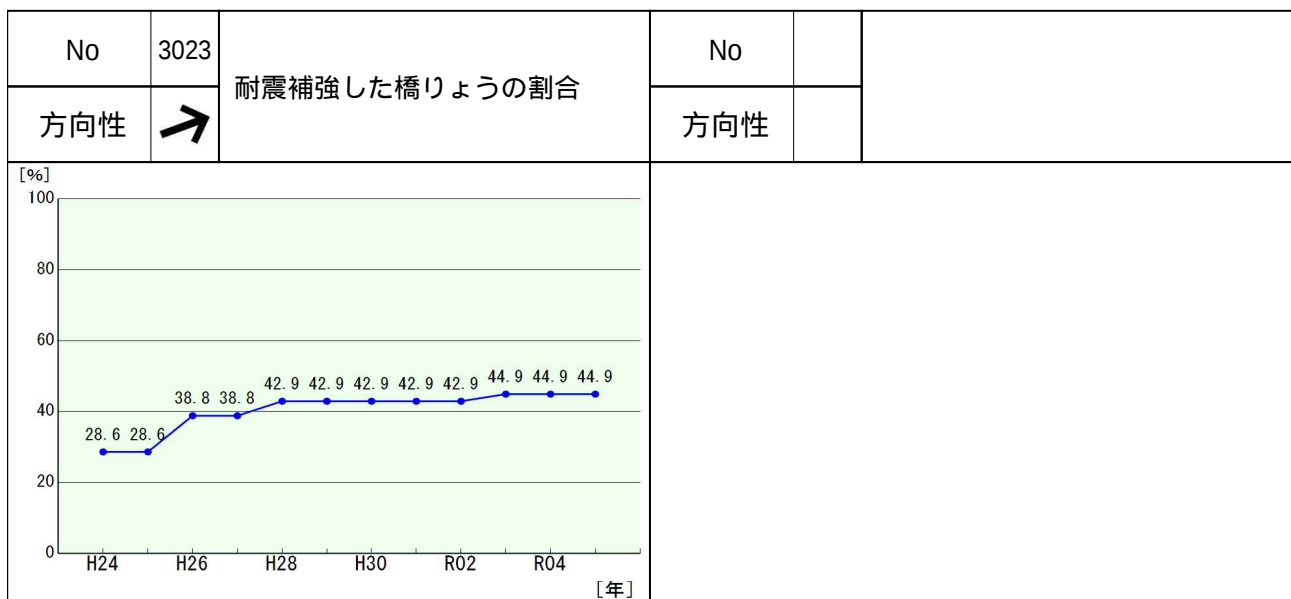
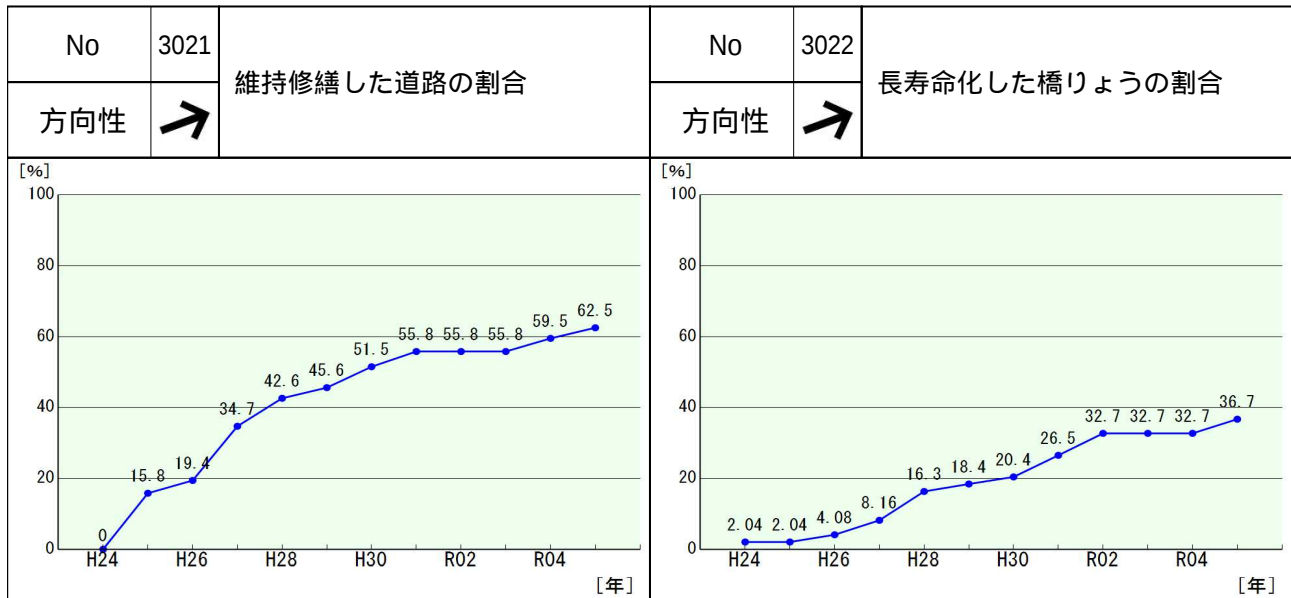
単位施策の評価

成果指標は基準値から向上したことから、単位施策は順調に進展した。
 市内の都市計画道路や幹線道路・補助幹線道路を計画的に整備してきたことが、安全な道路環境の向上につながったと考える。
 7次計画においては、引き続き上位計画や地元要望などから優先順位を踏まえ、安全な道路環境の整備や道路施設の維持修繕を実施していくことで安心・安全な道路環境の向上を目指していく。

施策 30 だれもが安全に安心して通行できる道路をつくる
 単位施策 02 道路施設の維持修繕や耐震化を進める

単位施策主管課【土木課】

成果指標の推移



単位施策の評価

成果指標は基準値から向上したことから、単位施策は順調に進展した。
 市民からの要望や道路環境を調査した結果を踏まえ、計画的に市内の道路施設の維持修繕や耐震化を実施したことが安全な道路環境の向上につながったと考える。
 7次計画においては、引き続き上位計画や地元要望などから優先順位を踏まえ、安全な道路環境の整備や道路施設の維持修繕を実施していくことで安心・安全な道路環境の向上を目指していく。

章	05 都市基盤	理念	快適
節	02 道路・交通		
施策	31 快適に移動がしやすい交通環境をつくる		
施策主管課【土木課】			

めざすまちの姿

買い物、通勤、通学などの日常生活の移動がしやすい

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

だれもが市内を円滑に移動できるよう、幹線道路や鉄道駅などを整備するとともに、らんらんバスをはじめ移動手段の充実を図ります。また、公共施設や駅周辺に駐車場や駐輪場を確保して、混雑の解消に努めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	幹線道路をつくる	5,241,874	3,060,815
02	公共交通機関の利便性を高める	4,500,241	2,477,915
03	自動車・自転車などの駐車スペースを確保する	35,609	35,161
04	市内をわかりやすく案内する	2,000	1,705
施策合計		9,779,724	5,575,596

まちづくり指標の分析

No	0042	買い物、通勤、通学などの日常生活の移動がしやすいと思う人の割合	No		
方向性	➔		方向性		
[年]					
対基準値:3.2ポイント増 / 基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:66.7% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:交通手段で比較的自動車を利用する自営業や主婦において道路環境に対する満足度が高い。					

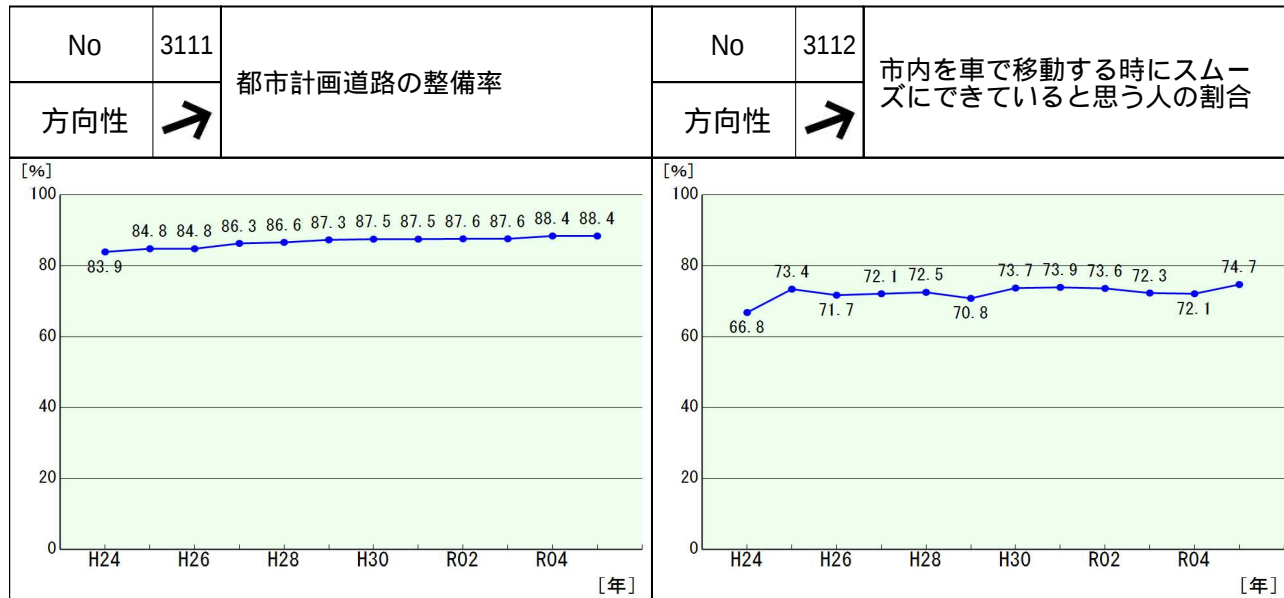
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

まちづくり指標は近年めざそう値と同水準あたりを推移しており、単位施策の成果動向も順調であることから、施策は順調に進展した。
計画期間をとおして、道路改良工事をはじめとする安全な道路環境の整備を実施するとともに、道路利用者にわかりやすい案内を実現できるよう、施設案内標識の設置などを実施したことが指標向上に寄与したものと考えられる。
7次計画では、引き続き上位計画や地元要望などから優先順位を踏まえ、安全な道路環境の整備をすることで、快適に移動しやすい交通環境の向上を目指していく。

施策 31 快適に移動がしやすい交通環境をつくる
 単位施策 01 幹線道路をつくる

単位施策主管課【土木課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

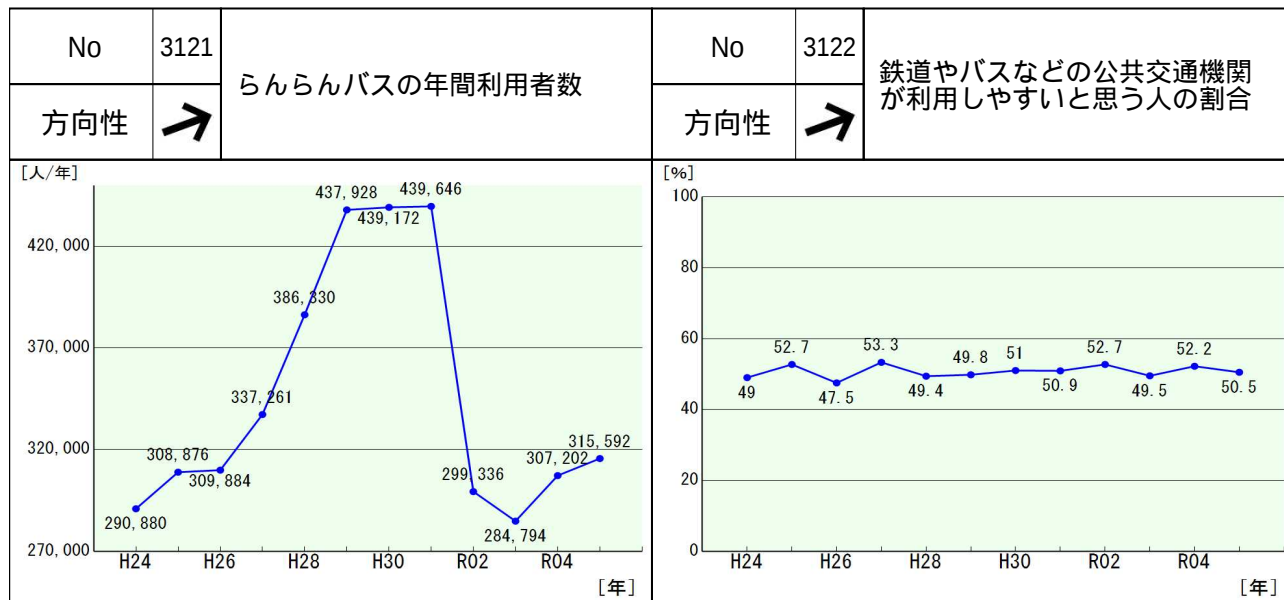
単位施策の評価

成果指標は基準値から向上したことから、単位施策は順調に進展した。
 市内の都市計画道路や幹線道路・補助幹線道路の道路改良工事を計画的に実施してきたことが、移動がしやすい交通環境の向上につながったと考える。
 7次計画においては、引き続き上位計画や地元要望などから優先順位を踏まえ、安全な道路環境・交通環境の整備をすることで快適に移動がしやすい交通環境の向上を目指していく。

施策 31 快適に移動がしやすい交通環境をつくる
 単位施策 02 公共交通機関の利便性を高める

単位施策主管課【都市計画課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標はいずれも基準値から向上しており、単位施策は順調に進展した。
 「らんらんバスの年間利用者数」は基準値から24,712人増加、「公共交通機関が利用しやすいと思う人の割合」も基準値から1.5ポイント向上している。計画期間中には、より利便性が向上するように平成27年度及び令和2年度にダイヤ及びルートの改正を行ったものの、「公共交通機関が利用しやすいと思う人の割合」がほぼ横ばいであり、変化していく公共交通に求められるニーズへの対応が必要であると考え。

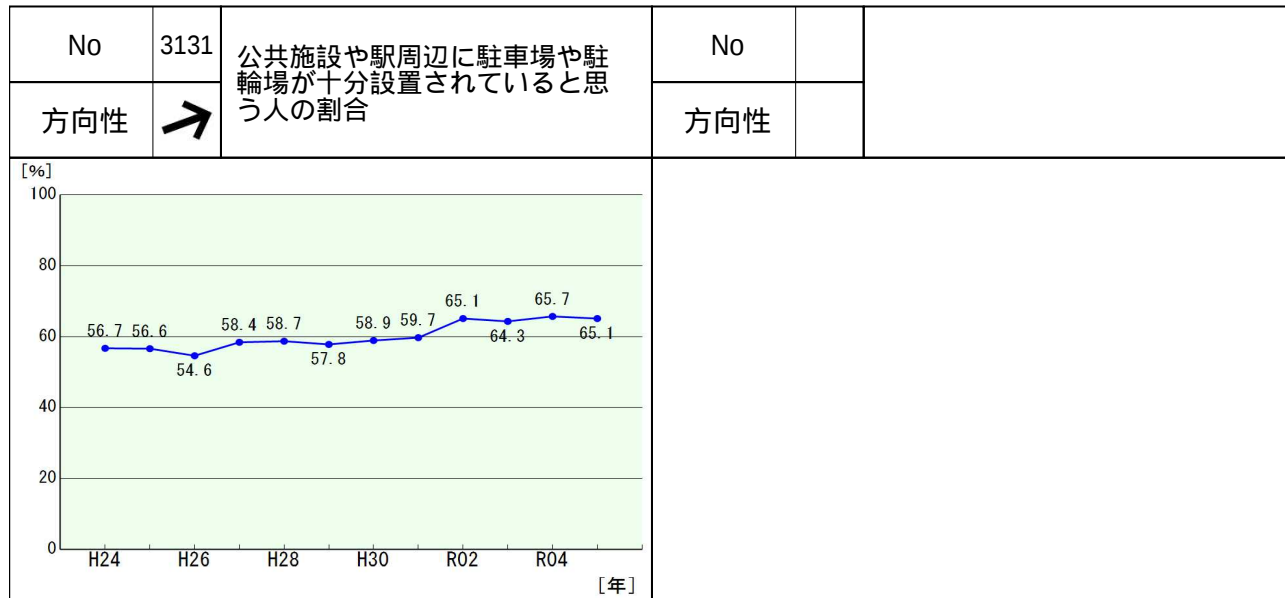
7次計画でも、高齢化や人口減少等、社会構造の変化に伴う公共交通に求められるニーズの変化に対応するため、地域の交通体系の維持・改善につながるような取り組みを継続していく。

施策 31 快適に移動がしやすい交通環境をつくる

単位施策 03 自動車・自転車などの駐車スペースを確保する

単位施策主管課【土木課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

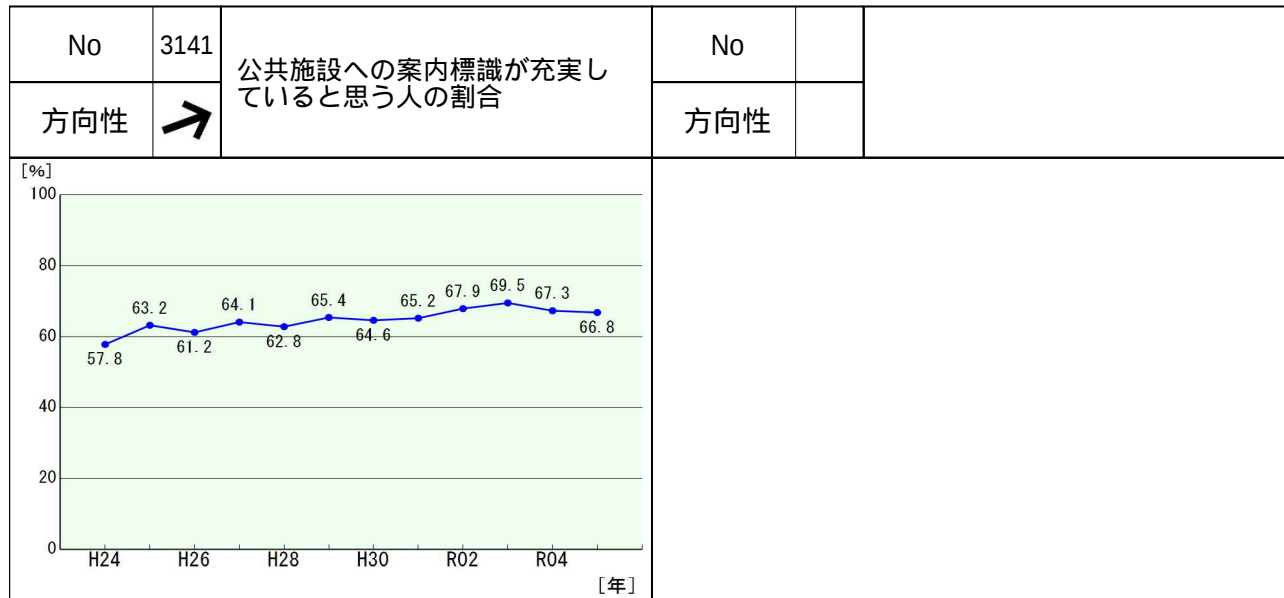
単位施策の評価

成果指標は基準値から向上したことから、単位施策は順調に進展した。
地域の実情に応じて自動車・自転車などの駐車スペースの確保に努めたことに加え、市民の自転車等駐車場利用の定着が図られたことが要因と考える。
7次計画においては、地域の実情に応じた施設の利用状況や高齢者、障がい者等が円滑に利用できる措置も視野に入れながら、駐車スペースの確保について検討を進めていく。

施策 31 快適に移動がしやすい交通環境をつくる
 単位施策 04 市内をわかりやすく案内する

単位施策主管課【土木課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は基準値から向上したことから、単位施策は順調に進展した。
 市内の都市計画道路や幹線道路・補助幹線道路に地点名標識を計画的に整備してきたことが、市内をわかりやすく案内することにつながったと考える。
 7次計画においては、引き続き上位計画や地元要望などから優先順位を踏まえ、安全な道路環境の整備や施設案内標識を設置していくことで快適に移動がしやすい道路環境の向上を目指していく。

章	05 都市基盤	理念	快適
節	03 公園・緑地		
施策	32 花と緑の豊かなまちなみをつくる		
施策主管課【花と緑の推進課】			

めざすまちの姿

まちに花や緑が豊かである

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

公園や緑地を整備して、魅力あるまちなみにするとともに、緑のネットワーク化を進めます。 また、市民などと一体となって、花と緑にあふれたまちづくりを進めます。
--

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	暮らしのなかを花いっぱいにする	35,276	34,841
02	豊かな緑につつまれたまちにする	9,729	8,669
03	魅力ある公園・街路樹をつくる	1,109,975	1,092,536
施策合計		1,154,980	1,136,046

まちづくり指標の分析

No	0043	花や緑が充実していると思う人の割合	No																												
方向性	➔		方向性																												
[%] <table><caption>まちづくり指標の推移（推定値）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>割合 [%]</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>72.7</td></tr><tr><td>H25</td><td>74.1</td></tr><tr><td>H26</td><td>72.4</td></tr><tr><td>H27</td><td>74.2</td></tr><tr><td>H28</td><td>74.6</td></tr><tr><td>H29</td><td>75.1</td></tr><tr><td>H30</td><td>75</td></tr><tr><td>R01</td><td>76.7</td></tr><tr><td>R02</td><td>75.6</td></tr><tr><td>R03</td><td>75.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>75.8</td></tr><tr><td>R05</td><td>78</td></tr></tbody></table> [年] <td colspan="3"></td>			年度	割合 [%]	H24	72.7	H25	74.1	H26	72.4	H27	74.2	H28	74.6	H29	75.1	H30	75	R01	76.7	R02	75.6	R03	75.3	R04	75.8	R05	78			
年度	割合 [%]																														
H24	72.7																														
H25	74.1																														
H26	72.4																														
H27	74.2																														
H28	74.6																														
H29	75.1																														
H30	75																														
R01	76.7																														
R02	75.6																														
R03	75.3																														
R04	75.8																														
R05	78																														
対基準値：2.5ポイント増 / 基準値からの推移： 10年後めざそう値達成率：47.2% 年齢別：差異無、職業別：差異無、地区別：差異無 要因：市民との協働により植栽会等の開催や、花苗配布、花壇づくりに積極的に取り組んだことによる。																															

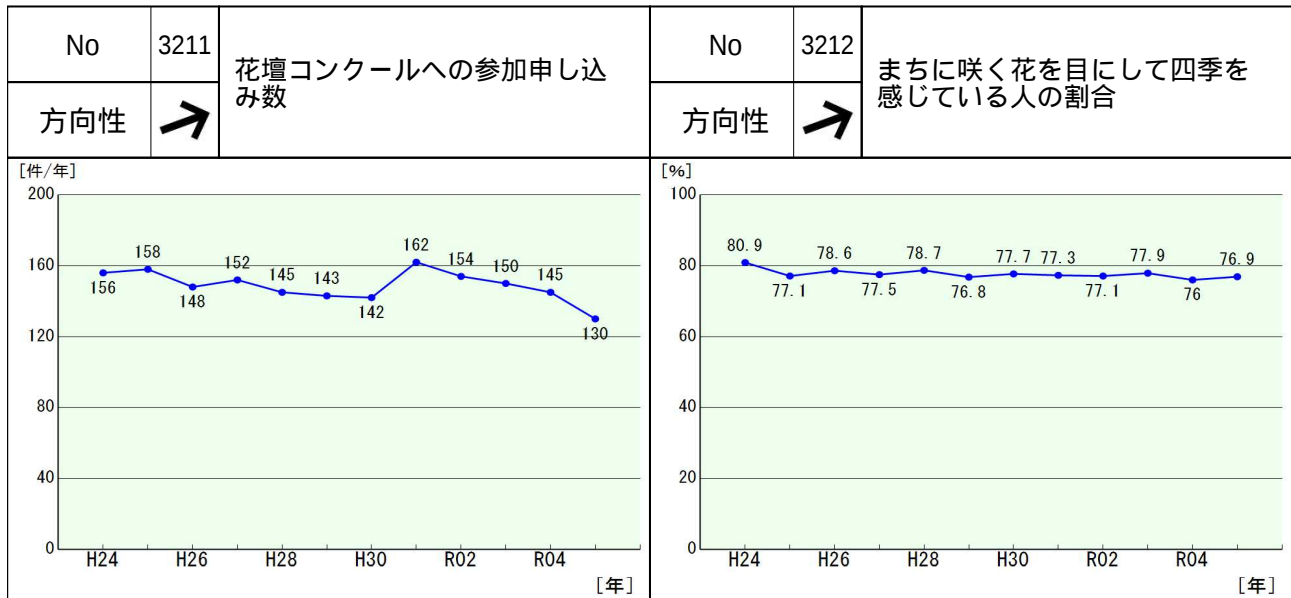
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「花や緑が充実していると思う人の割合」は、めざそう値達成率47.2%であったものの、基準値から2.5ポイント改善しており、施策は横ばいで推移した。 公園緑地の計画的な整備と適切な維持管理に取り組んできたことから、「公園・街路樹に満足している市民の割合」は改善したが、高齢化や夏の猛暑により花の維持管理が困難になってきていることから「花壇コンクールへの参加申込数」及び「まちに咲く花を目にして四季を感じている人の割合」は高い数値で横ばいに推移したものの、基準値から低下した。 7次計画では、公園緑地の整備と維持管理を計画的に進めるとともに、市民参加による花のまちづくり運動の推進に取り組み、次世代に花と緑につつまれたまちを引き継いでいく。

施策 32 花と緑の豊かなまちなみをつくる
 単位施策 01 暮らしのなかを花いっぱいにする

単位施策主管課【花と緑の推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標2指標とも基準値から低下しており、施策は順調に進展しなかった。

「花壇コンクール参加申し込み数」は、新規参加を促すため、部門の見直し等の改善を重ねてきたことにより、他市と比較すると多いものの、市民の高齢化や夏の猛暑により花壇の維持管理が困難となったことや、市側のPRが参加意欲向上につながらなかったこと等により、基準値から低下したものと考える。また「まちに咲く花を目にして四季を感じている人の割合」は、市民の外出や緑化活動の機会が減ったこと等により、基準値から低下したものと考える。

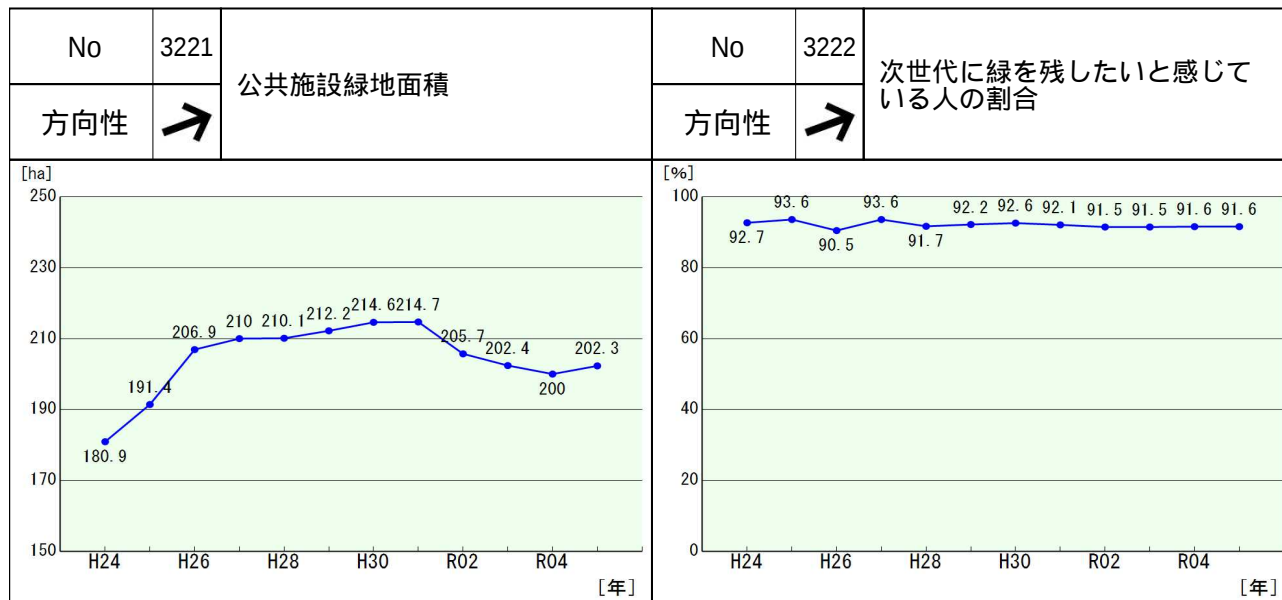
7次計画では、花壇コンクールを縮小する代わりに、初心者を含めたより多くの市民が、暮らしのなかを花いっぱいにする活動に気軽に参加できるように事業を展開していく。

施策 32 花と緑の豊かなまちなみをつくる

単位施策 02 豊かな緑につつまれたまちにする

単位施策主管課【花と緑の推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

「公共施設緑地面積」は基準値から大きく向上し、「次世代に緑を残したいと感じている人」の割合は、基準値よりわずかに低下しているものの、91.6%と高い水準で横ばいに推移しているため、施策は概ね順調に進展した。

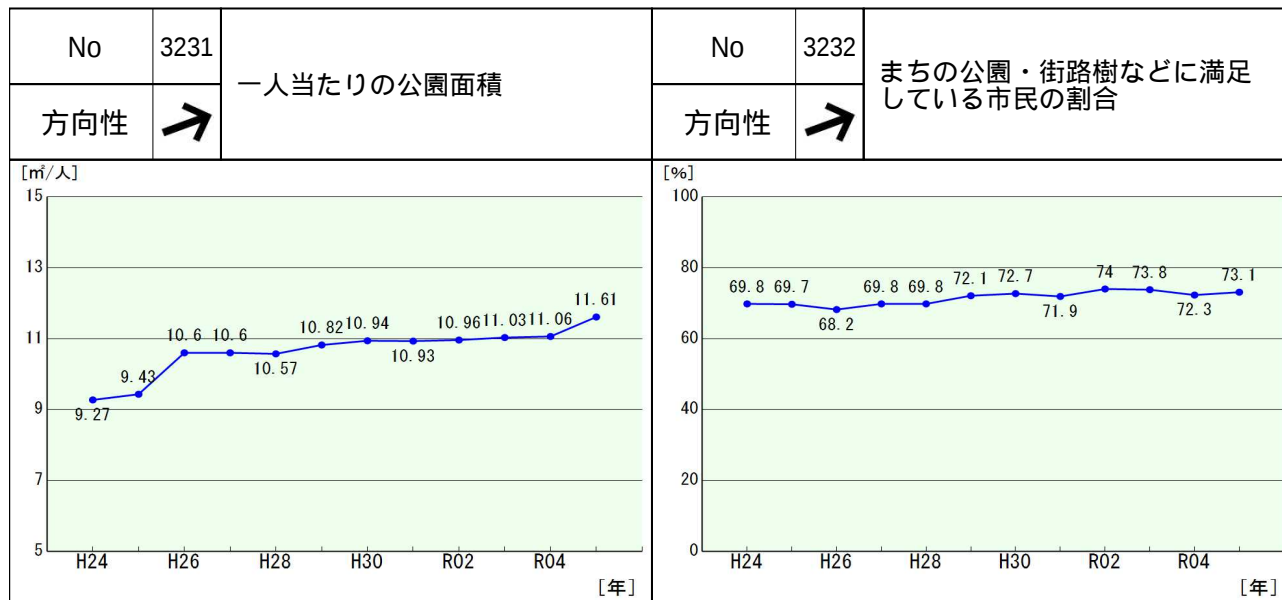
「公共施設緑地面積」は、公園緑地整備や民間開発等により増加し、「次世代に緑を残したい人の割合」は、公園緑地整備や民有地緑化の推進、保全地区・保存樹木等の事業に取り組んできたことから、高い水準で横ばいに推移しているものとする。

7次計画では、引き続き、公園緑地の適正な維持管理や整備を実施するとともに、民有地の緑化推進や緑の保全に取り組んでいく。

施策 32 花と緑の豊かなまちなみをつくる
 単位施策 03 魅力ある公園・街路樹をつくる

単位施策主管課【花と緑の推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標2指標とも基準値から向上しており、単位施策は順調に進展した。
 「一人当たりの公園面積」の増加は、計画的な公園整備を進めてきたことが要因であると考えられる。また、「まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合」の向上は、適切な維持管理をしてきたことが要因と考える。
 7次計画でも引き続き、誰もが安全・安心、快適に利用できるよう、公園などの適切な維持管理と計画的な整備に取り組んでいく。

章	05 都市基盤	理念	安心
節	04 河川		
施策	33 浸水被害がない地域にする		
施策主管課【土木課】			

めざすまちの姿

浸水被害に不安がなく、だれもが安心して生活している

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

5年に1回の確率で降る大雨（5年確率降雨）に対応できるよう、河川や下水道の整備を進めます。

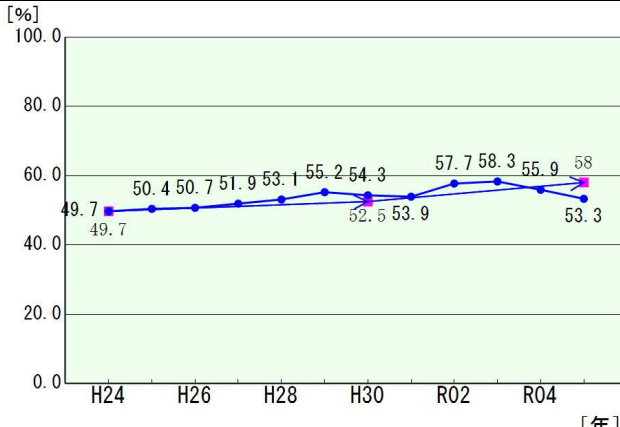
また、近年の地球温暖化やヒートアイランド現象の影響で、突発的・局地的に発生する集中豪雨に対応するため、大田川流域における「100mm/h安心プラン」をはじめとした計画に基づき、適切な浸水対策を進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	計画的な雨水処理を行う	1,177,082	1,174,567
02	浸水対策を推進する	10,178	8,838
施策合計		1,187,260	1,183,405

まちづくり指標の分析

No	0044	大雨に対する安全性が高いと思う人の割合	No																
方向性	➔		方向性																
[%] <table border="1"><thead><tr><th>Year</th><th>Percentage (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>49.7</td></tr><tr><td>H26</td><td>50.4</td></tr><tr><td>H28</td><td>51.9</td></tr><tr><td>H30</td><td>55.2</td></tr><tr><td>R02</td><td>57.7</td></tr><tr><td>R04</td><td>58.0</td></tr></tbody></table> [年]			Year	Percentage (%)	H24	49.7	H26	50.4	H28	51.9	H30	55.2	R02	57.7	R04	58.0			
Year	Percentage (%)																		
H24	49.7																		
H26	50.4																		
H28	51.9																		
H30	55.2																		
R02	57.7																		
R04	58.0																		
対基準値:3.6ポイント増 / 基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:43.4% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:比較的地盤の高い地域において大雨からの安全性に対する満足度が高い。																			

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

まちづくり指標はめざそう値達成率が43.4%だが、近年はめざそう値と同水準となっており、施策は概ね順調に進展した。

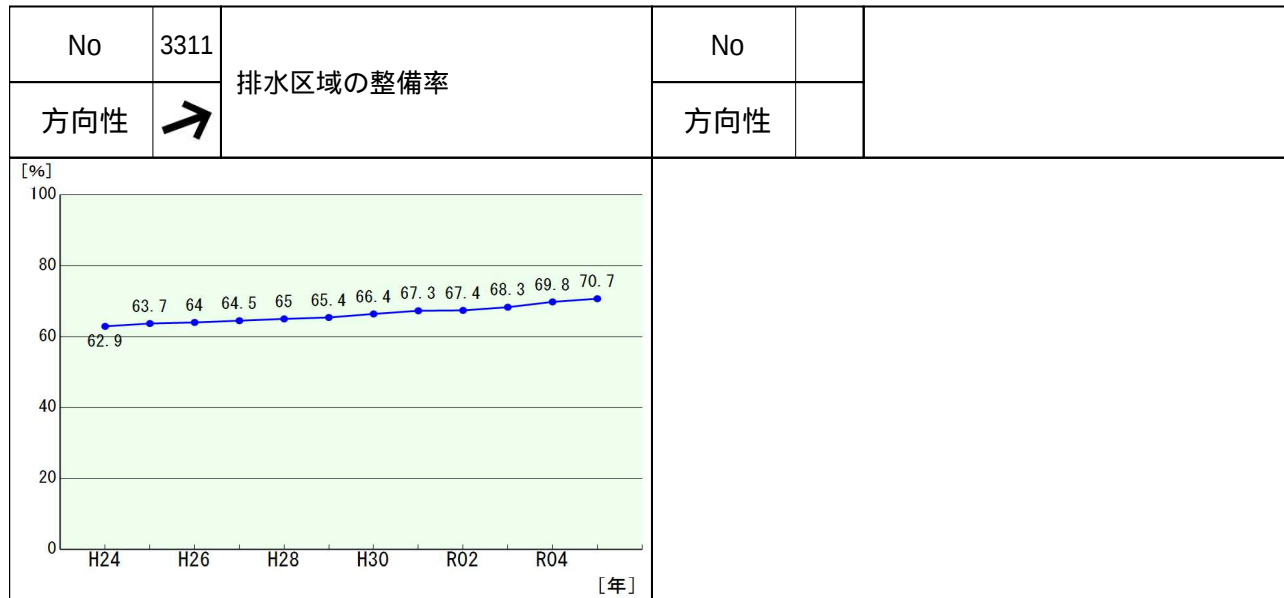
計画期間をとおして、調整池の整備やため池管理者の協力のもとため池を一時貯留施設として活用できたことにより、浸水被害の低減につながったことが要因と考える。

7次計画では、「100mm/h安心プラン」に位置づけた雨水管渠整備や県事業の大田川河川改修等のハード対策事業とコミュニティ主体の避難行動計画の策定や住民参加型の水防訓練の実施等のソフト対策事業を計画的に進めていく。

施策 33 浸水被害がない地域にする
単位施策 01 計画的な雨水処理を行う

単位施策主管課【土木課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

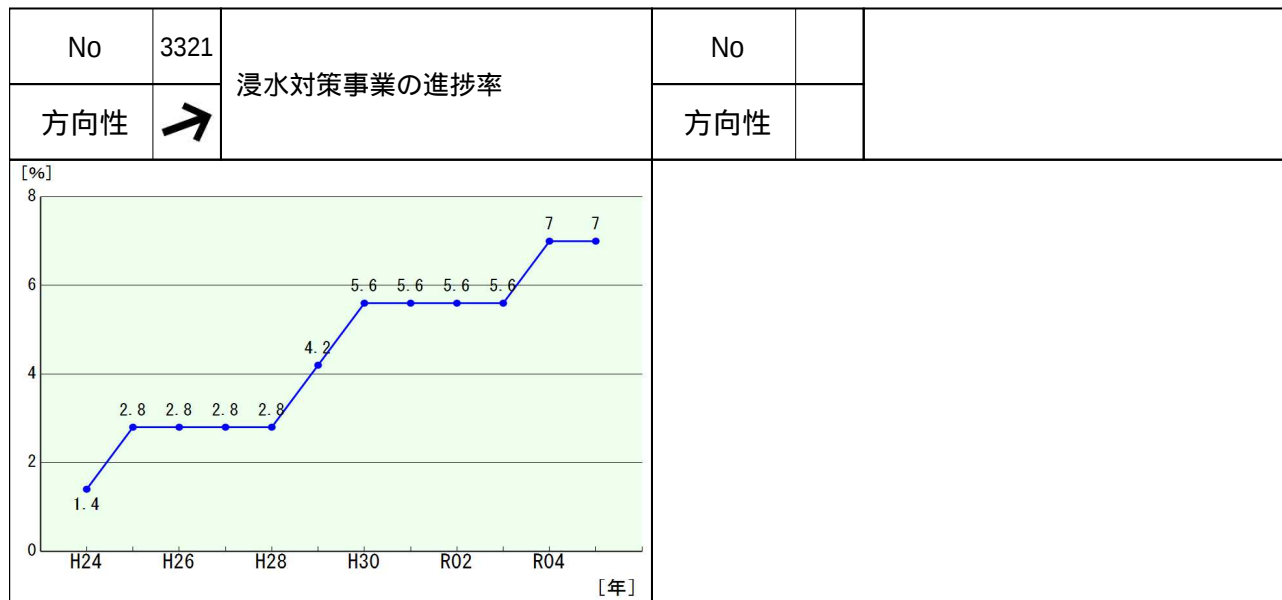
単位施策の評価

成果指標は基準値から向上したことから、単位施策は順調に進展した。
雨水幹線の整備と老朽化の進む雨水ポンプ場において、適切な整備と維持管理により計画的な雨水処理を行なったことが浸水被害のない地域づくりにつながったと考える。
7次計画においては、計画的な下水道の整備やポンプ場等排水施設の整備を行い、今後の維持修繕費用が増大しないように配慮しながら浸水被害のない地域づくりに取り組んでいく。

施策 33 浸水被害がない地域にする
単位施策 02 浸水対策を推進する

単位施策主管課【土木課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は基準値から向上したことから、単位施策は順調に進展した。
 姫島公園調整池を始め、4か所の調整池整備が完了したことに加え、令和3年度から進めている木之下調整池の整備が完了したことや大雨時のため池の水位調整が機能していることが、浸水被害のない地域づくりにつながったと考える。
 7次計画においては、100mm/安心プランに基づき、雨水管渠整備や県事業の大田川河川改修等のハード対策事業と、大田川流域以外のコミュニティについても避難行動計画の作成や市民参加型の水防訓練の実施等のソフト対策事業を検討していく。

章	05 都市基盤	理念	快適
節	05 まちなみ		
施策	34 良好な都市景観と快適な住環境をつくる		
施策主管課【建築住宅課】			

めざすまちの姿

良好な景観が保たれ、快適に暮らせる環境が整っている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

良好な都市景観づくりと風致を維持することで、住環境の質的向上に努めます。また、公営住宅を適切に整備し、市民の安定した居住を確保します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	景観に配慮した公共空間の整備を進める	7,821	782
02	快適な住環境をつくる	74,345	71,940
施策合計		82,166	72,722

まちづくり指標の分析

No	0045	良好な景観が保全され、快適な 住環境が整っていると思う人の 割合	No																
方向性	➡		方向性																
[%] [年] <table><caption>指標値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>指標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>51.9</td></tr><tr><td>H26</td><td>50.9</td></tr><tr><td>H28</td><td>53.6</td></tr><tr><td>H30</td><td>56.6</td></tr><tr><td>R02</td><td>59.4</td></tr><tr><td>R04</td><td>60.2</td></tr></tbody></table>			年度	指標値	H24	51.9	H26	50.9	H28	53.6	H30	56.6	R02	59.4	R04	60.2			
年度	指標値																		
H24	51.9																		
H26	50.9																		
H28	53.6																		
H30	56.6																		
R02	59.4																		
R04	60.2																		
対基準値:8.3ポイント増 / 基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:102.5% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:比較的生活圏の広い会社員、学生、主婦や若年																			

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

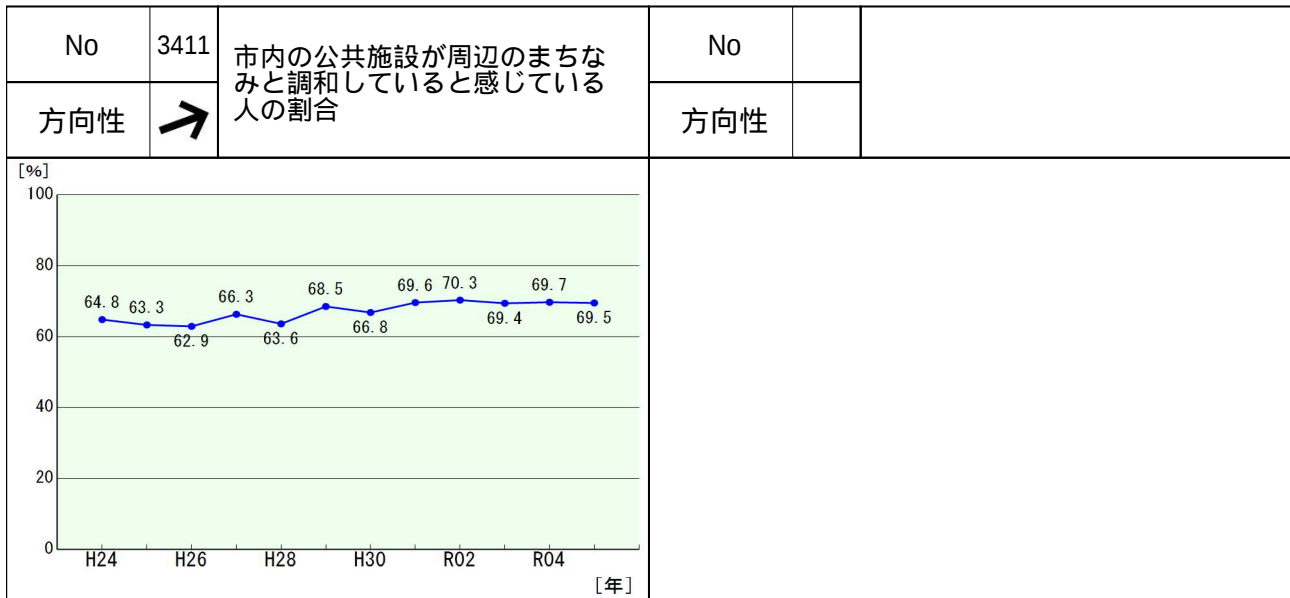
まちづくり指標は、近年めざそう値を超えて推移しており、施策は順調に進展した。
 計画期間をとあして、電線類地中化事業をはじめとする景観に配慮した公共空間の整備を実施するとともに、アダプトプログラム事業などの環境美化に関する取り組みや市営住宅の整備、空き家対策等の快適な住環境づくりを推進してきたことが、指標向上に寄与したものと考えられる。
 7次計画では、子育て世代に対する住宅支援、長期優良住宅の普及促進や令和7年度に開館予定の「創造の杜交流館」を拠点とした尾張横須賀駅周辺の歴史を生かした景観づくりなどを実施していくことで、住環境の質的向上を目指していく。

施策 34 良好な都市景観と快適な住環境をつくる

単位施策 01 景観に配慮した公共空間の整備を進める

単位施策主管課【都市計画課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は基準値から改善しており、単位施策は順調に進展した。

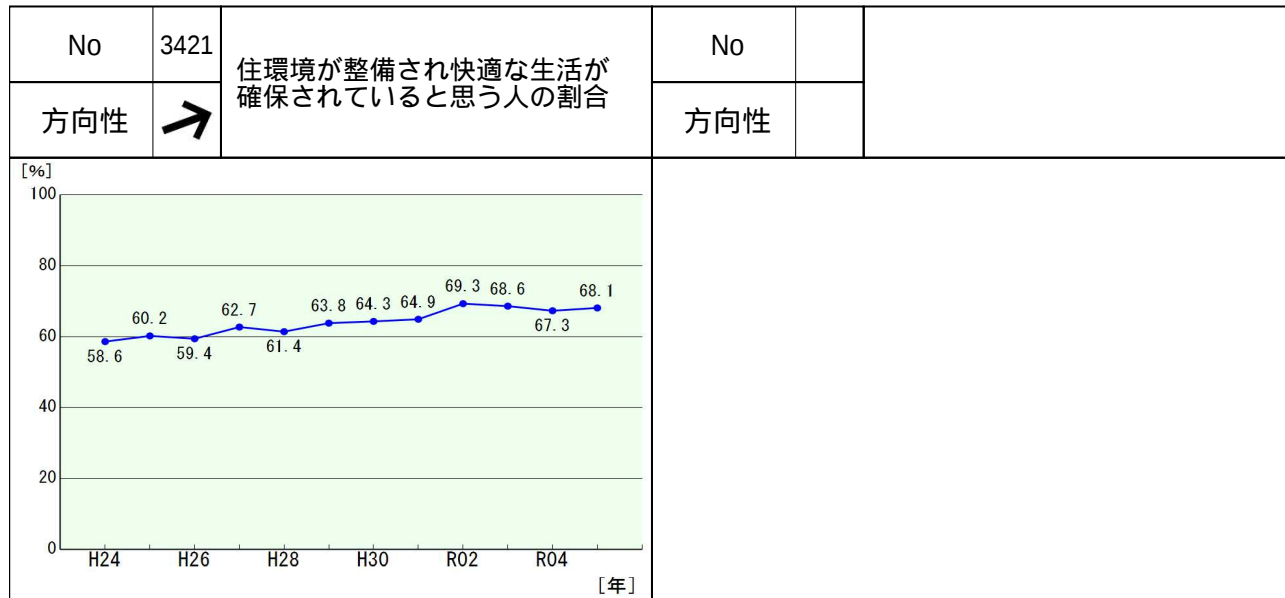
太田川駅周辺地区や尾張横須賀駅西地区の一部における無電柱化の整備、また太田川駅周辺地区画整理事業に伴い公共施設の整備が進んだことが影響したと考える。学生や若年層を中心に数値が高くなっている傾向があり、通勤や通学で多く利用される駅を中心としたまちづくりが評価されているものとする。

7次計画では、多世代にも受け入れられるよう、地域の特性を生かした取り組みなど、市民とともに調和のとれたまちなみづくりを進めていく。

施策 34 良好な都市景観と快適な住環境をつくる
単位施策 02 快適な住環境をつくる

単位施策主管課【建築住宅課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は基準値から向上し、近年は70.0%近い数値で推移していることから、単位施策は順調に進展した。

高齢者だけでなく子育て世帯の方など、世帯状況を考慮した市営住宅の建替えをはじめとする居住環境の整備や、空き家対策、アダプトプログラム事業等の住宅周辺の環境整備を継続的に実施してきたことが、生活の快適性向上につながったと考える。

7次計画においては、子育て世代に対する住宅支援や長期優良住宅などの付加価値のある住宅供給の促進、空き家の発生抑制や利活用など、引き続き多世代が安心して暮らせる環境づくりを進めていく。